

大学コンソーシアムやまがた幹事会議事録

日時 平成20年3月28日(金) 13:00～14:45
場所 山形大学事務局3F第1会議室
出席者 委員長 小山清人(山形大学)
副委員長 大場英次(東北芸術工科大学)、安達幸世(県立保健医療大学)、
峯田喜八郎(県立米沢女子短期大学)、佐藤孝也(山形短期大学)
委員 中村三春(総務運営委員会委員長/山形大学)、呉 尚浩(地域活動部会
長/東北公益文科大学)、三浦正昭(山形大学)、白田裕司(代理・東北
公益文科大学)、佐々木達雄(羽陽学園短期大学)、江口裕之(代理・鶴
岡工業高等専門学校)、奥山克郎(放送大学山形学習センター)、伊藤和博(県
立産業技術短期大学校)、室岡和夫(県立農業大学校)、今田秀喜(山形
県)
オブザーバー出席者 山崎淳一郎(山形大学)
欠席者 委員 松田幹夫(教育連携部会長/県立保健医療大学)、友光健二(学術情報部
会長/山形大学)

議事に先立ち、委員長から代理出席者およびオブザーバー出席者の紹介があった。次いで、委員長から、本日の議事録署名人を三浦委員および今田委員にお願いしたい旨提案があり了承された。

議題1 平成19年度事業報告および収支決算見込について

総務運営委員会委員長の中村委員から、資料1-1及び1-2に基づき、19年度の事業報告案および収支決算見込について説明があった。

次いで、質疑・意見交換の後、委員長から、事業報告書(案)について諮られた結果、原案どおり了承され定期総会に提案することになった。また、委員長から、収支決算書(案)については、次回の本会において最終的な決算書案をご審議いただいた上で定期総会に提案することにしたい旨説明があり了承された。

議題2 平成20年度事業計画および収支予算について

委員長から、12月18日開催された臨時総会において会長から説明しているが、本コンソーシアムへの支援を含めて、財団法人新技術振興渡辺記念会から山形大学に対し事業の委託が行われた旨説明があった。次いで、中村委員から、今年度、本コンソーシアムの事業の見直しが行われたが、その後、財団からの支援が決定したため、事業計画および収支予算に大幅な見直しが必要になった旨補足説明があった。

次いで、オブザーバー出席の山形大学山崎教授から、資料2-1に基づき、財団からの事業の委託を受けることになった経緯および委託事業の内容についての説明、および、中村委員から、資料2-2、2-3および2-4に基づき、20年度の事業計画案と収支予算案について説明があった。

次いで、質疑・意見交換の後、委員長から、事業計画書(案)について諮られた結果、原

案どおり了承され定期総会に提案することになった。また、委員長から、収支予算書（案）については、19年度の決算との関係から、次回の本会において再度ご審議いただいた上で定期総会に提案することにしたい旨説明があり了承された。なお、20年度の一部事業の総会開催前実施が了承された。

事業計画・予算案の説明の主な内容は次のとおり。

- ・新規事業は、学生募集共同化事業の「出張・大学等合同説明会」、単位互換事業の「集中講義型の共同教育方法の検討」、市民向けサービス提供事業の「科学教室」、広報事業の「大学コンソーシアムの名入りグッズ作成」、財団からの委託事業の「山形版エラスムス計画の検討」である。
- ・大学入試センターとの共催事業の「山形県大学ガイダンスセミナー」、山形県の補助事業の「地域づくりセミナー」、山形県との共同事業の「やまがたサイエンスカフェ」は20年度も継続実施する。
- ・財団から山形大学に委託された事業の実施にあたり、山形大学から本コンソーシアムに対し事業の一部が再委託される予定で、その再委託費として1,604万円を計上している。

質疑・意見交換の主な内容は次のとおり。

- ・県内高校生の県内進学率が20%を割っていることから、県外流出を食い止める方策の検討も必要ではないか。（新規事業の「出張・大学等合同説明会」がその方策にもなる。）
- ・予算書（案）の中、地域づくりセミナーの「19年度報告書作成」については、20年度も継続実施のため、20年度に一括作成することになる。
- ・理科離れ対策事業について、理科離れそのものの原因究明も必要ではないか。

議題3 その他

- (1) 単位互換に関する農大の加入、覚書の改定および産短大のオブザーバー参加について
委員長から、本件については3月17日付けの本会の持ち回り会議において了承いただいているものである旨説明の後、中村委員から、資料3に基づき説明があった。

次いで、県立産業技術短期大学の伊藤委員から、単位互換への産短大のオブザーバー参加については、参加の対象を庄内校のみにしてほしい旨発言があり、委員長から諮られた結果、オブザーバー参加は庄内校のみに訂正し了承された。

- (2) 文科省の戦略的大学連携支援事業について

委員長から、本件については、12月18日開催された臨時総会において検討され、獲得に向けて本幹事会等で検討することになっているものである旨説明の後、オブザーバー出席の山崎教授から、資料4-1、4-2および4-3に基づき、事業概要、公募要領案および提案課題案について説明があった。

次いで、委員長から、申請に向けて具体策を検討する検討会を設けることにしたい旨提案があり了承された。また、委員長から、各機関は検討会メンバーとして適任者がおられたら積極的に参加いただきたい旨の依頼があった。

配付資料


- 資料 No. なし 幹事会名簿
- 資料 1-1 19年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書 (案)
- 資料 1-2 19年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書 (案)
- 資料 2-1 プレス発表資料 (財団からの委託事業について)
(財団) 調査研究委託計画書
エラスムス計画 (解説書)
- 資料 2-2 財団から山形大学に委託される調査研究事業の概要
山形大学からコンソーシアムに再委託される事業の概要
- 資料 2-3 20年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書 (案)
- 資料 2-4 20年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書 (案)
- 資料 3 大学コンソーシアムやまがた総会の開催 (持ち回り) について
- 資料 4-1 「戦略的大学連携支援事業」の概要
- 資料 4-2 「戦略的大学連携支援事業」公募要領 (案)
- 資料 4-3 「戦略的大学連携支援事業」提案課題の基本コンセプト (案)
- 参考資料 1 大学コンソーシアムやまがた役員等一覧

議事録署名人

山形大学副学長

山形 清人 

山形大学企画部長

三浦 正昭  印

山形県文化環境部学術振興課長

今田 秀喜 